

大学・高専機能強化支援事業
(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】
事業概要

令和5年7月時点

1. 基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F112310102468
大学名	麗澤大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	千葉県
大学全体の総収容定員数	2,400名	※令和5年5月1日時点	
学部学科 組織構成	外国語学部(外国語学科)、経済学部(経済学科、経営学科)、国際学部(国際学科、グローバルビジネス学科)		

2. 事業概要

レガシーシステムの戦略的更新を含む業務・ビジネスモデルのIT化、DX化の推進、さらにITの非専門家とも円滑にコミュニケーションできるといった社会のニーズに対応できるよう、**プログラミングやデータサイエンス等の能力、デザイン思考に基づく課題解決型思考力・実行力と倫理的規範を持つ人材を育成**するため、入学定員100名、収容定員400名からなる工学部を令和6年度に開設予定である。数学系科目、ゼミ系科目、社会課題系科目を積み上げ、専門科目としては、情報システム系科目、ロボティクス系科目、プロジェクト推進系科目を展開する体系的なカリキュラムを編制することとしている。

また、国立研究機関等と連携して、**学部生向けデザイン思考に関する新たな教材・教授方法の研究を行う**計画である。また同様に、**農業DXを題材として課題解決教育の準備を進める**ほか、地域密着側の街作り支援NPO等と街作りを題材として、**準備を進める**。加えて**企業との学生参加型・共同研究**もマッチング会合を年に数回開催し、推進する。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和6年度				
認可申請・届出予定	令和4年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入			
改組内容	学部の新設				
設置等組織名	工学部工学科				
設置等組織の学位分野	工学関係				
当該学部等の所在地	千葉県柏市				
入学定員	100名				
収容定員	400名				
入学定員の増加数	100名				
他学部等の入学定員の減少数	なし				

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。



改組予定年度：令和6年度
改組内容：学部の新設
設置等組織名：工学部工学科
入学定員：【R6新設】100名
所在地：千葉県柏市

・新設や改組の特徴・コンセプト

レガシーシステムの戦略的更新を含む業務・ビジネスモデルのIT化、DX化の推進、さらにITの非専門家とも円滑にコミュニケーションできるといった社会のニーズに対応できるよう、[プログラミングやデータサイエンス等の能力](#)、[デザイン思考に基づく課題解決型思考力・実行力と倫理的規範を持つ人材を育成する。](#)

・改組後の教育内容

数学系科目、ゼミ系科目、社会課題系科目を積み上げ、専門科目としては、情報システム系科目、ロボティクス系科目、プロジェクト推進系科目を展開する体系的なカリキュラムを編制することとしている。

申請要件②十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

近隣の高等学校をはじめとして首都圏等の114校に依頼し、新設される工学部に対する入学意向調査を行い、クロス集計の結果、「併願先の合否に関わらず入学したいと思う」を選択した回答者73名、「併願先の合否を考慮して入学を決める」を選択した回答者357名という結果を得ており、「併願先の合否を考慮して入学を決める」の回答数に既存学部の3か年平均合格者入学率11.0%を掛けるとおよそ39名が入学すると予想され、先の73名を加えると合計で入学定員100名を超える112名の入学希望者を確保できると推察される。

申請要件⑤計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

工学部の専任教員は教授10名のうち4名、准教授6名のうち1名が、民間企業でのシステム開発や公的研究機関での研究開発等に従事していた役員・管理職経験者や自ら企業した企業の経営者等の実務経験を持つ教員である。これらの教員が「システム開発の基礎」「データベース」「ソフトウェア開発の実際」といったシステム系科目や「ロボティクス基礎」「社会ロボティクス」といった実践的な科目を担当する予定である。

申請要件⑩計画の対象となる学部又は学科において、大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

[国立研究機関等と連携して学部生向けデザイン思考に関する新たな教材・教授方法の研究を行う計画である。](#)
[また同様に農業DXを題材として課題解決教育の準備を進めるほか、地域密着型NPOと街作りを題材として教育準備を進める。](#)社会課題解決を軸とした幅広い学びの機会にふさわしい多様な入学者を確保するため、特に女子校向けの出張授業、学校説明会を積極的に行う。また系列校である麗澤中学・高等学校、麗澤瑞浪中学・高等学校を始め千葉県・茨城県・埼玉県等の首都圏の高校に対して出張授業やワークショップ等を月に数回以上行う。

申請要件③産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。

レガシーシステムの戦略的更新を含む業務・ビジネスモデルのIT化、DX化の推進、ITの非専門家とも円滑にコミュニケーションできるといった社会のニーズに対応できるよう、プログラミングやデータサイエンス等の能力、デザイン思考に基づく課題解決型思考力・実行力と倫理的規範を持つ人材を育成する。数学系科目、ゼミ系科目、社会課題系科目を積み上げ、専門科目としては、情報システム系科目、ロボティクス系科目、プロジェクト推進系科目を展開する体系的なカリキュラムを編制することとしている。このようなカリキュラムに対応できる学生を確保するため、学力試験による選抜、推薦や多様な入試による選抜を実施する予定であり、特に総合型選抜や指定校推薦入学試験等では、社会課題に対する感度や、アイデア創出への取り組み姿勢等を考慮した入学者選抜を実施する予定である。

申請内容⑦学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

企業との協議は、情報、生活、IT分野の上場企業や大学周辺の地元企業とこれからの企業に必要なIT人材について2023年10月までに協議する予定である。また、いずれも首長が民間出身である周辺自治体とは、自治体のDX推進とそのために必要な人材要件について、本学と教育連携協定を結んでおり、レベル4での自動運転バスを運行している自治体もすでにあり、地域交通と住宅や医療、介護等の民間事業者の連携手法及び必要な人材要件についても2023年10月までに協議する予定である。

申請要件④特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

システムの戦略的更新や業務・ビジネスモデルのIT化、DX化を推進できる力、ITの非専門家との円滑なコミュニケーション力、課題ドリブンの思考力、実行力と倫理的規範を持つ人材を育成するため、工学部の新校舎を建設し、最先端のコンピュータ・ネットワーク環境、ハイフレックス環境、ドローンやロボット等の実験環境等を整備する予定である。また、民間企業での勤務経験があり学術的な業績も十分にある教員を含む教育体制を構築することで、企業との共同研究や実証実験等を通じた社会経験を学生に積ませることができるようになる計画である。加えて、エドテック（学生の成長を多面的にデータ化・視覚化し、継続的に教育等を改善する技術）により効果を継続的・確実に上げる仕組みを備える。

申請内容⑪寄附金、研究費等の外部資金の獲得について、フェーズ3の助成期間終了時まで、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

本学工学部は、AIやデータサイエンス、ロボティクスをコアとして課題解決を行える人材を育成するものであり、首都圏を構成しているにも関わらず、理工系大学が少ない千葉県とその周辺では、企業や自治体等に課題解決のための共同研究・開発プロジェクトに大きな期待がある。そこで、年に2回、5月と11月に、地域企業・自治体の要望と工学部の教育や研究内容とのマッチング会を行い、産学連携の教育・研究機会、さらに寄付金や研究費等を獲得する。採用を申請している教員は16名であるが、すでに1人当たり年間数百万円から数千万円程度の課題解決プロジェクトを多数実施した実績を有しており、目標を達成する見通しは極めて高い。